

## シチリア・ノートにおけるインフィオラータ（花祭り）「日本へのオマージュ」

2013年6月  
在イタリア日本国大使館・広報文化班

南イタリア・シチリア州の南東部に位置するノート市は、人口約2万3000人で、ユネスコ世界遺産にも登録されている素晴らしい伝統的なバロック建築の町並みで知られています。ノート市では、毎年5月に、花びらで地面に絵を描くお祭り「インフィオラータ」を開催しており、同期間中は、イタリアのみならずヨーロッパ各地から、約10万人の観光客がノート市を訪れます。

今年35回目となった「インフィオラータ」のテーマには「日本」が選ばれ、5月17日から19日まで、日本を題材にした花絵制作を中心に、日本から来訪したアーティストによる様々な日本文化紹介イベントが開催され、町が日本一色に染まりました。



【日本国旗を掲げた市庁舎】

【伝統的中世衣裳での行進の先頭で日本国旗とノート市の旗を持つ子供】

### 1. 日本をテーマにした花絵

5月17日の夜からは、市内中心部ニコラチ通りにて、日本を代表する花絵作家である藤川靖彦氏の意匠による作品を中心に、日本を題材にした様々な花絵が制作されました。地元の花絵愛好家団体のボランティアが、花びらを茎から切り取る作業、地面に下絵を描く作業などに励み、歌舞伎役者、着物姿の女性、漢字など、日本をテーマとした花絵が姿を現すと、ノートのバロックの町並みと何とも言えないハーモニーを醸し出していました。



【花絵制作の様子】【ニコラチ通りを彩る日本を題材にした花絵】



## 2. 日本人アーティストによるイベント

17日から19日にかけて、ノート市内では、日本人アーティストによる数多くのイベントが開催されました。押し花作家の杉野宣雄氏による押し花展覧会やワークショップ、音楽アーティスト・アニャンゴ氏によるライブ、書道家・木下真理子氏によるパフォーマンスが行われた他、市内には「カーザ・デル・ジャポーネ（日本の家）」と名付けられた会場が設置され、ひな人形、着物などの展示が行われました。どの会場でも、子供から大人まで、多くの方が日本文化に親しみ、楽しんでいる様子が見られました。



【書道パフォーマンス】



【押し花ワークショップ】

### 3. 当館の関わり

当館は、ノート市からの依頼を受け、広報への協力、館員の「インフィオラータ」各種イベント出席に加え、「インフィオラータ」のサイドイベント実施を計画しました。ノート市の全面協力を得て、16日から17日の2日間、ノート市立劇場において、新海誠監督「秒速5センチメートル」、「雲の向こう、約束の場所」、緒方明監督「のんちゃんのり弁」を上映し、好評を博しました。



【映画上映会冒頭の様子】



【会場】

### 4. おわりに

今回の「インフィオラータ」は、ノート市にとっては、日本での知名度アップの機会となり、また、日本側にとっては、日本文化を紹介する機会となりました。ノート市、ノート側団体、日本側団体、仲介をしたコーディネーターが一丸となって「インフィオラータ」開催に尽力した結果、大きな成功を収めました。多くのノート市民、観光客にとって、今回の「インフィオラータ」は、日本人、日本文化と触れる初めての機会となり、日本・シチリアの友好に果たした役割は大変大きかったと言えます。

この秋には、ノート市を含む周辺自治体が、東京・大阪にて、観光PRを実施する計画もあるそうですので、遠く離れた日本とシチリアの交流は、益々活発になっていきそうです。

(了)